

旧織田町萩野地区 - ため池群・山ぎわの水田 -



水草の豊富なため池



水草の豊富なため池

選 定 理 由 ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）が多種確認されている

県レッドデータブック掲載種数： 26種（面積約360ha）

自然の概要

この地域のため池には、コウホネ、ヒツジグサなどの水生植物が豊富に見られ、また、トンボ類、ゲンゴロウ類などの水生昆虫相も豊かです。また、年間を通じて湿潤な山ぎわの水田や休耕田には、イトトリゲモなどの水生植物が生育しています。

保全すべき主な環境

ため池、山田（山ぎわの水田および休耕田）

該当地の位置



里の生き物紹介 ゲンゴロウ（コウチュウ目ゲンゴロウ科）

体長が36～42mmの日本で最大のゲンゴロウで、体の縁が黄褐色をしているのが特徴です。かつてはどこにでも見られましたが、近年は非常に少なくなり減多に見られなくなっています。県内でも、1938年発行の「昆虫図譜」では、県下一円に分布するとされていましたが、最近見つかった記録は10か所程度で、従来に比べると激減していることが分かります。

ゲンゴロウは肉食で、小さな昆虫や魚などを食べて、土の中で蛹になります。このため農薬の使用による水生生物の減少や水路のコンクリート化による影響を受けやすく、減少要因の一つと考えられています。

保全すべき環境に生息・生育している生物



ヒツジグサ
県域絶滅危惧 類
腐食栄養または貧～中栄養の湖沼、ため池に生育



メダカ
県域絶滅危惧 類
池と沼、河川下流部の岸辺、水田とその用排水路に生息



ゲンゴロウ
県域準絶滅危惧
水生植物がある池や湿地・休耕田に生息



キトンボ
要注目
平地や丘陵地の樹林に囲まれた池沼に生息



コウホネ
要注目
湖沼、ため池、河川、水路に生育